

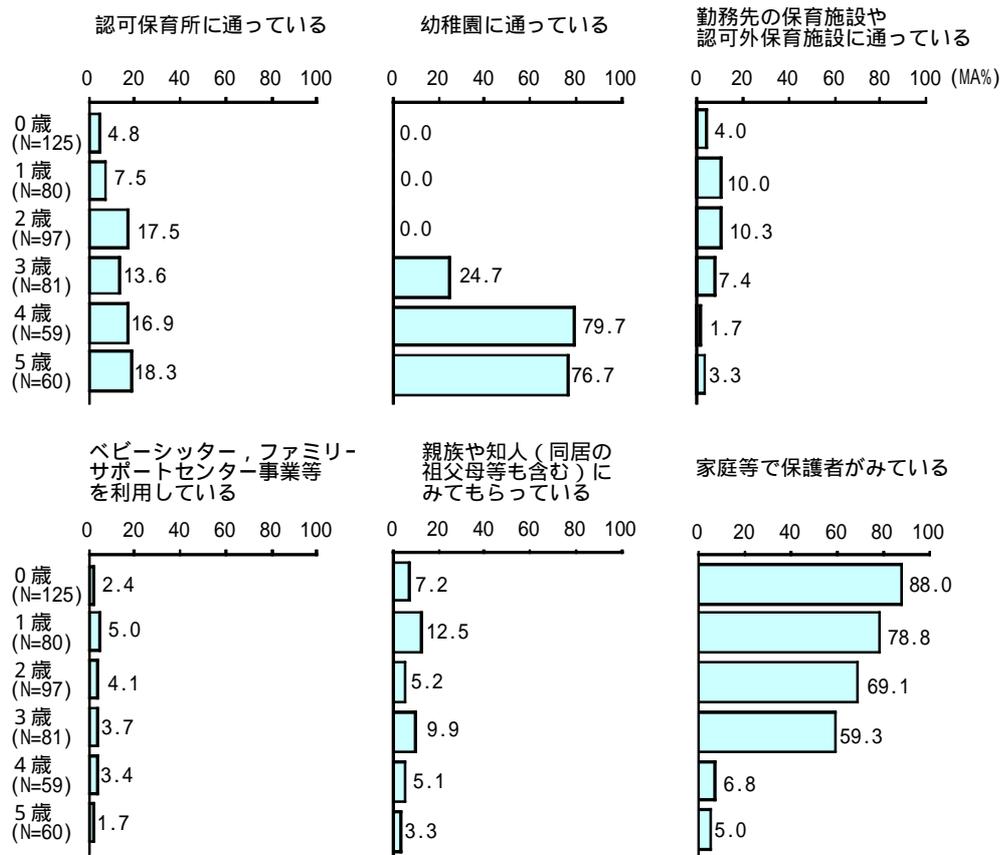
3 子どもの状況と子育ての実態

(1) 子どもの状況

乳幼児の状況

アンケート調査によると、乳幼児の子どもの主な保育状況を見ると、0～3歳までは保護者が在宅で保育をする割合が高く、4～5歳になると幼稚園の利用を中心に、何らかのサービスを利用している人が多くなっています。

図表 18 子どもの年齢別 ふだんの保育先



資料：子育て支援に関するアンケート調査

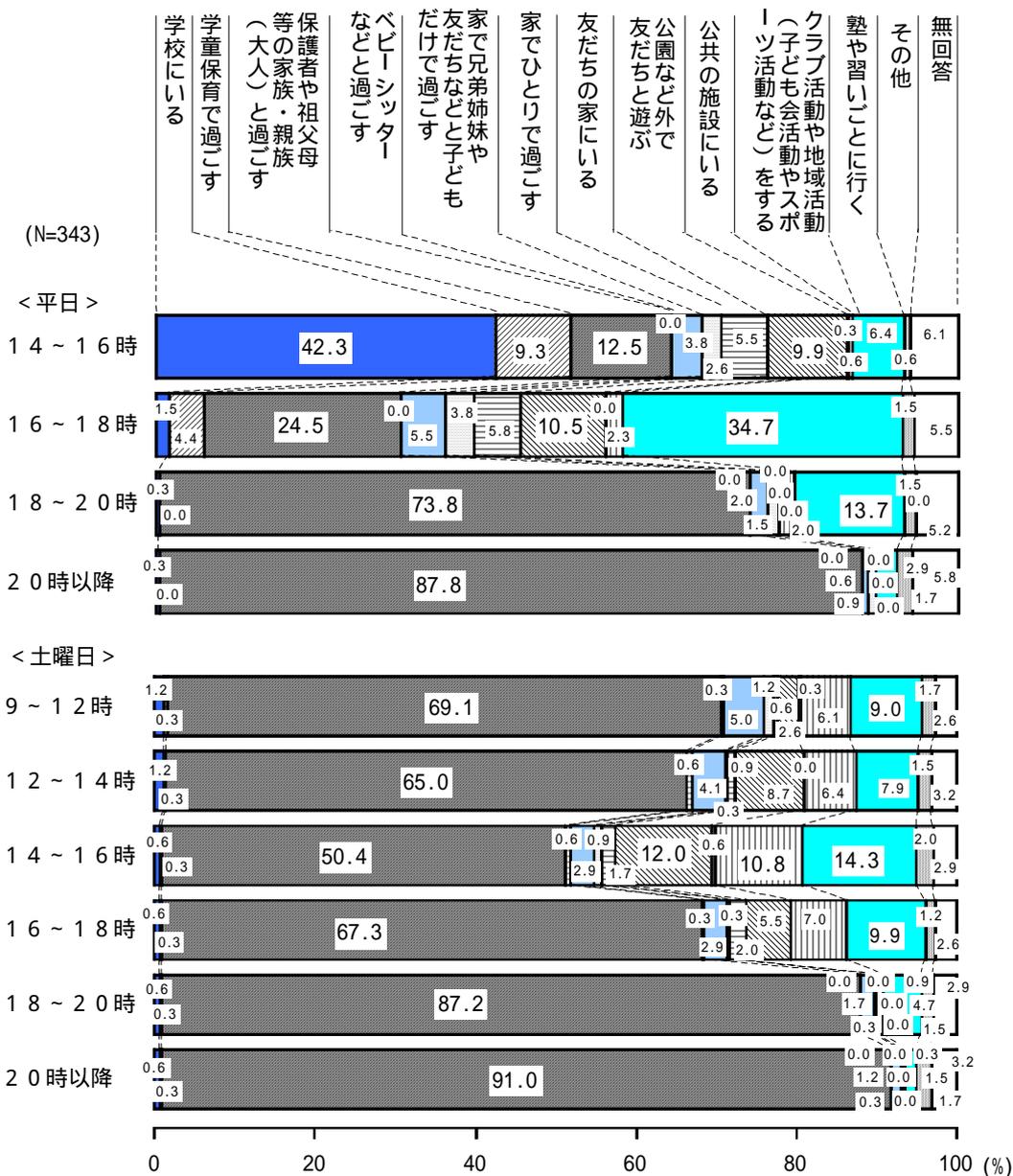
小学生の状況

アンケート調査によると、小学生の主な過ごし方として、平日の放課後は、学校で過ごした後、家族と過ごしたり、塾や習いごとに通う子どもが多くなっています。土曜日は、終日家族と過ごすことが最も多いものの、午前中から夕方にかけては友だちと遊んだり、クラブ活動や地域活動に参加するほか、塾や習いごとに通う等、様々な過ごし方をしています。

公共施設の利用状況を見ると、「公園」(90.0%)、「市民プール」(81.7%)、「図書館」(81.4%)、「小学校(校庭開放)」(63.8%)等の利用が多く、「児童センター」(2.6%)、「公民館」(8.5%)、「市民センター」(16.1%)、「浜風の家」(17.5%)等の利用が少なくなっています。

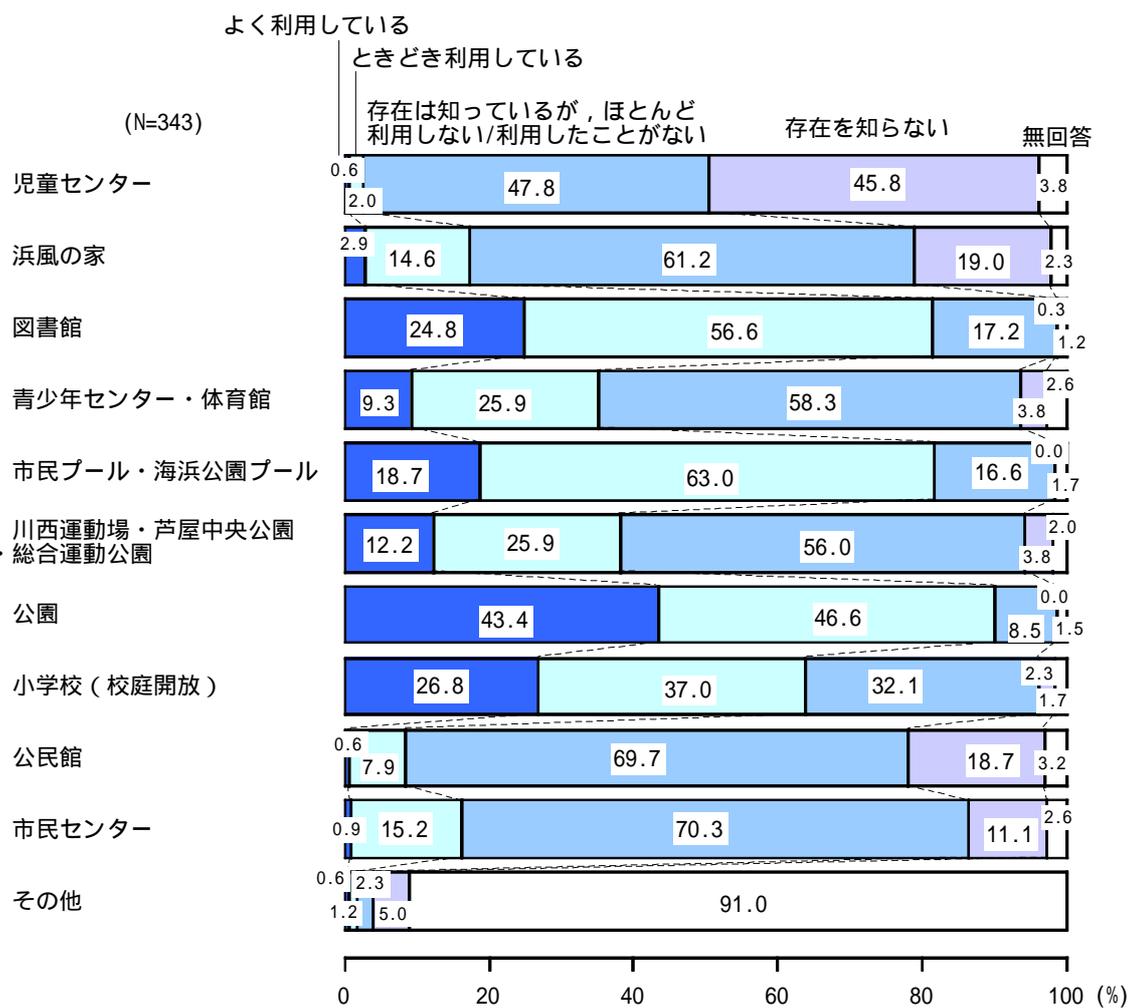
学校以外の地域活動やグループ活動には、「スポーツ活動」や「子ども会等青少年団体活動」を中心に小学生全体の68.5%が参加しています。

図表 19 子ども(小学生)の過ごし方

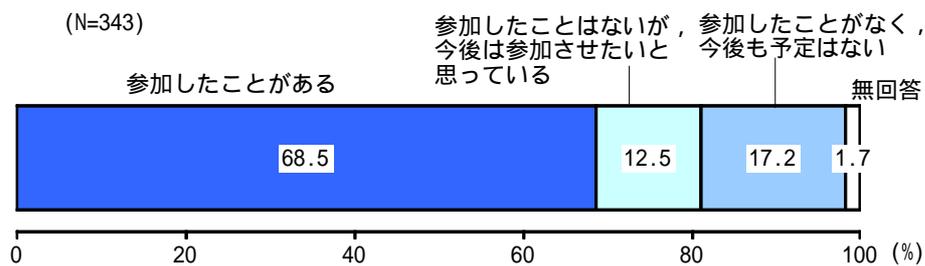


資料：子育て支援に関するアンケート調査

図表 20 公共施設の利用状況



図表 21 地域活動やグループ活動への参加状況



資料：子育て支援に関するアンケート調査

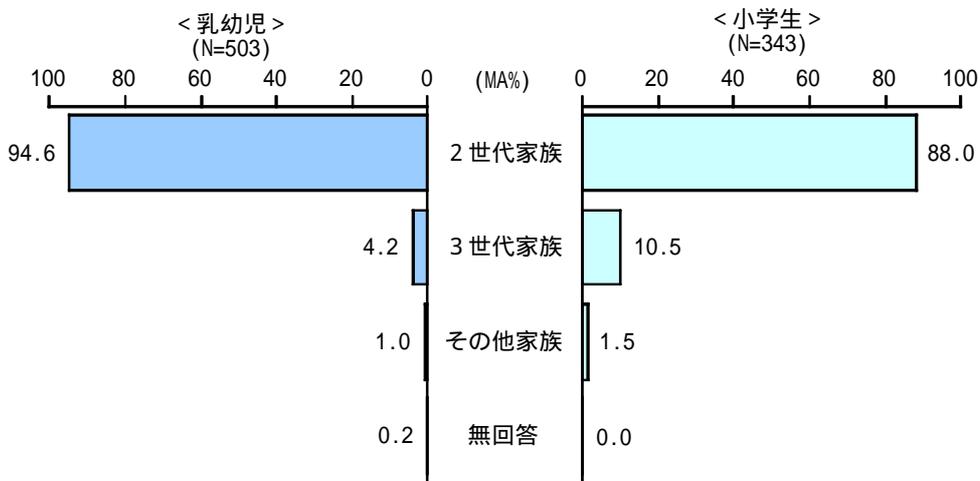
(2) 子育ての実態

保護者の状況

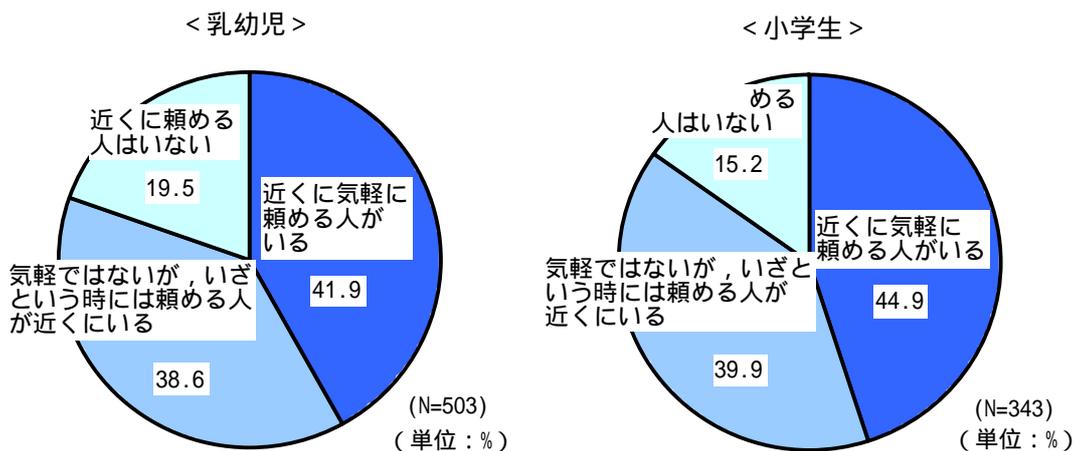
アンケート調査で、子育て家庭（乳幼児～小学生）の状況を見ると、乳幼児の保護者では94.6%、小学生の保護者でも88.0%が核家族世帯（2世代家族）となっています。

子どもの主な保育者は「母親」が大部分を占めています。身近な地域には、おおむね子育ての協力者はいますが、そのうち気軽に頼める人は乳幼児で41.9%、小学生で44.9%となっています。一方、近くに協力者がいない人も乳幼児で19.5%、小学生で15.2%を占めています。

図表 22 家族構成



図表 23 身近な地域での子育ての協力者の有無



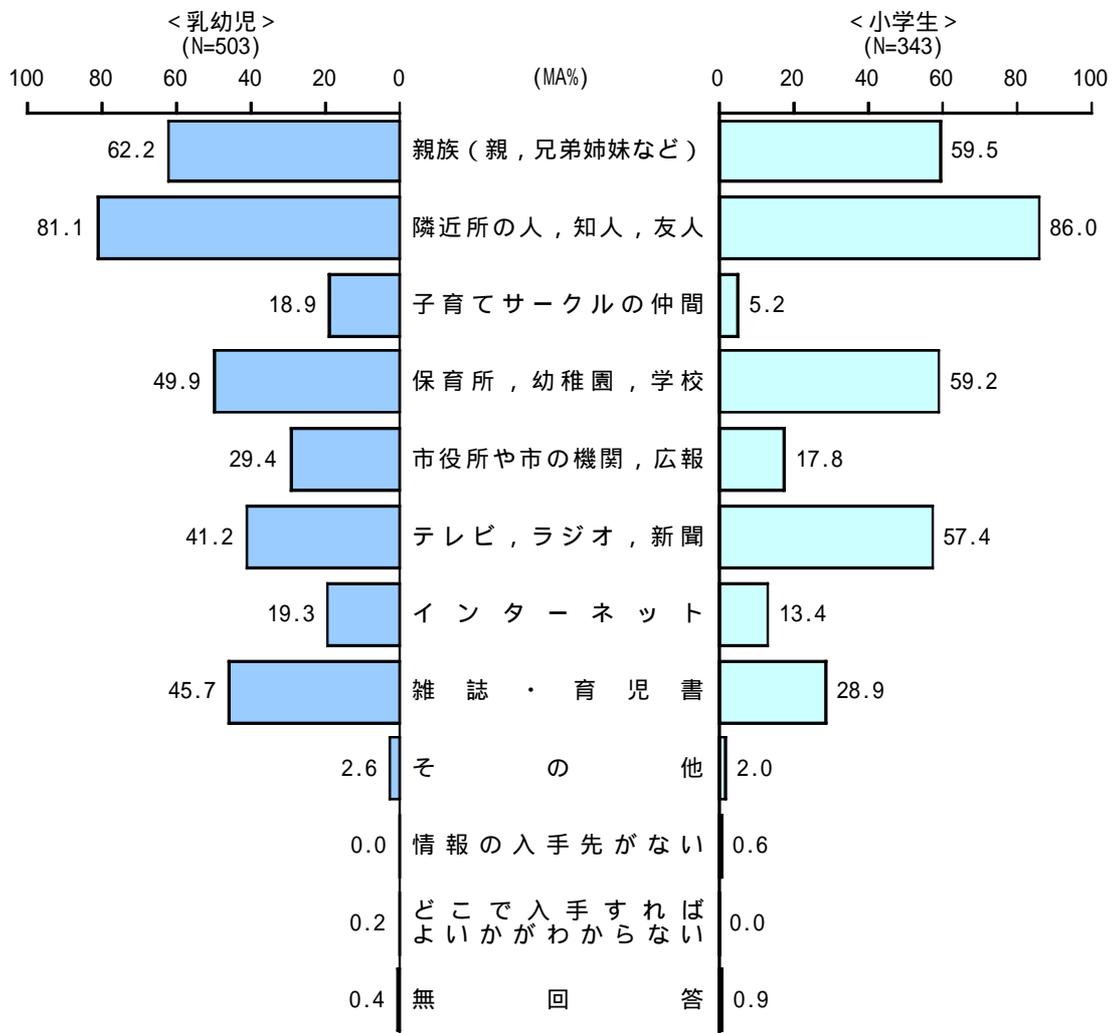
資料：子育て支援に関するアンケート調査

子育ての情報の入手方法，自主サークルへの参加状況

アンケート調査によると，子育てに関する情報の入手先としては，「隣近所の人，知人，友人」(乳幼児 81.1%，小学生 86.0%)，「親族(親，兄弟姉妹など)」(乳幼児 62.2%，小学生 59.5%) 等ふだん身近に接する人や，子どもが通う「保育所，幼稚園，学校」(乳幼児 49.9%，小学生 59.2%) が多くなっています。また，「テレビ，ラジオ，新聞」(乳幼児 41.2%，小学生 57.4%)，「雑誌・育児書」(乳幼児 45.7%，小学生 28.9%) 等のメディアも主な情報源となっています。

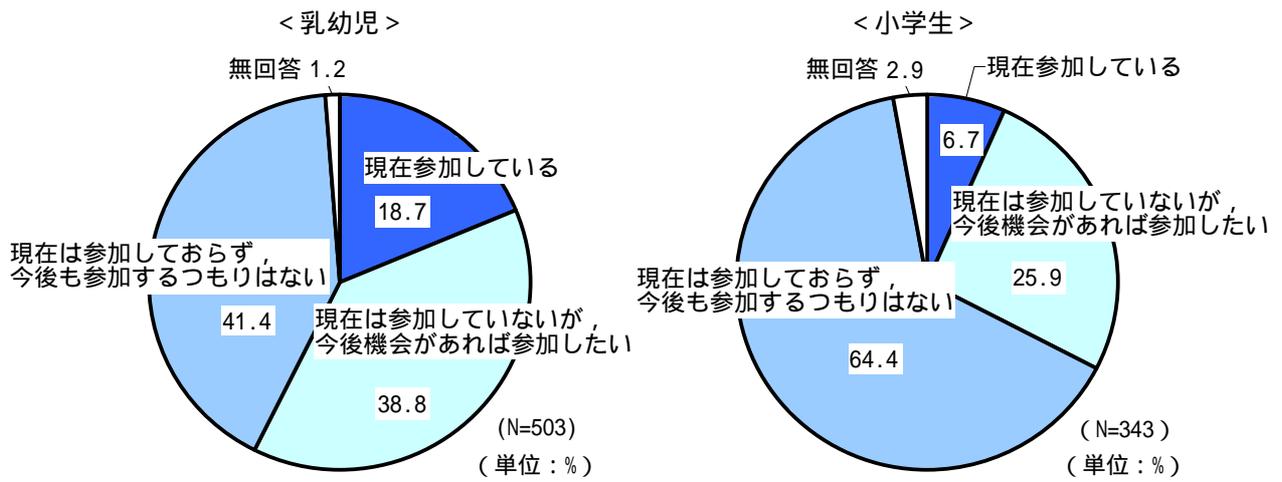
子育てサークル等自主的活動の参加状況を見ると，乳幼児の保護者で 18.7%，小学生の保護者で 6.7% といずれも参加率は低くなっていますが，現在参加していない乳幼児の保護者の 38.8% は今後参加を望んでいます。

図表 24 子育てに関する情報の入手方法



資料：子育て支援に関するアンケート調査

図表 25 子育てサークル等自主活動への参加状況



資料：子育て支援に関するアンケート調査



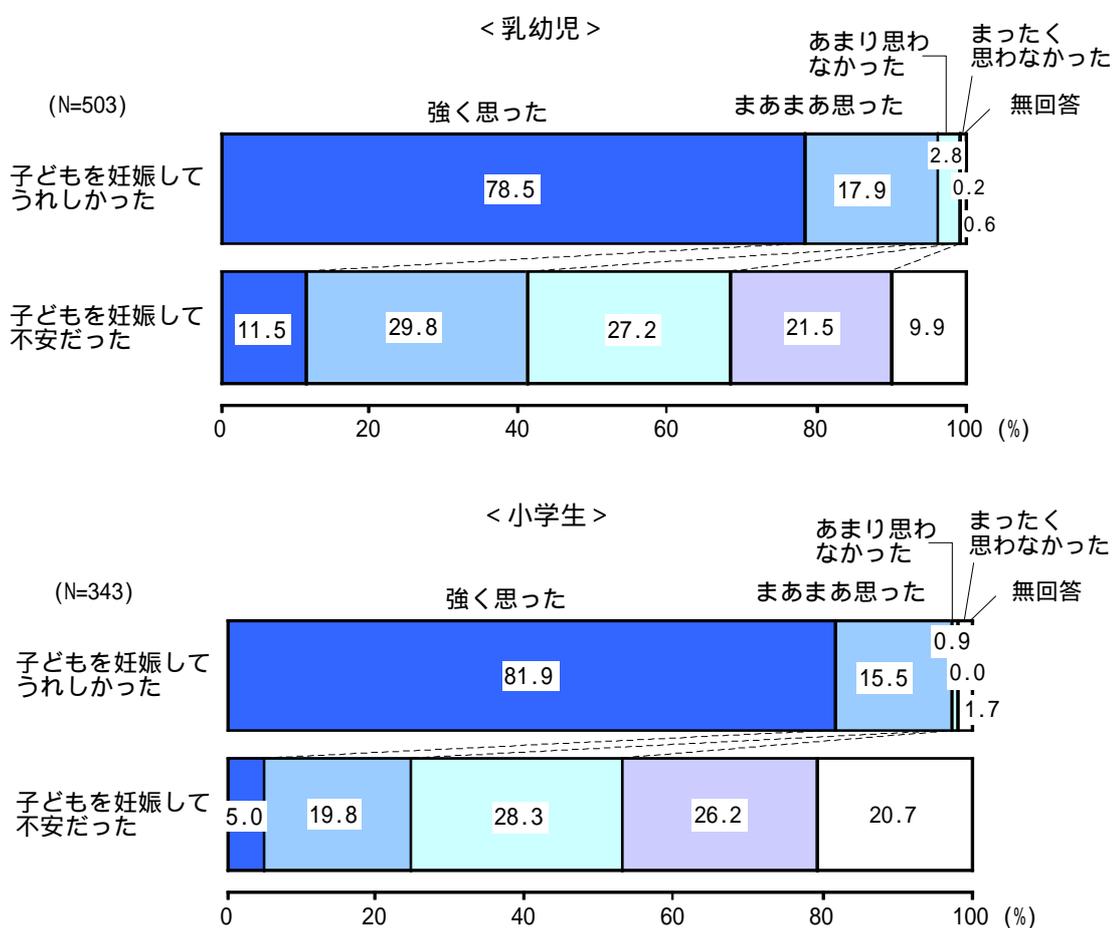
(3) 子育てに関する保護者の意識

子育てする上での気持ち

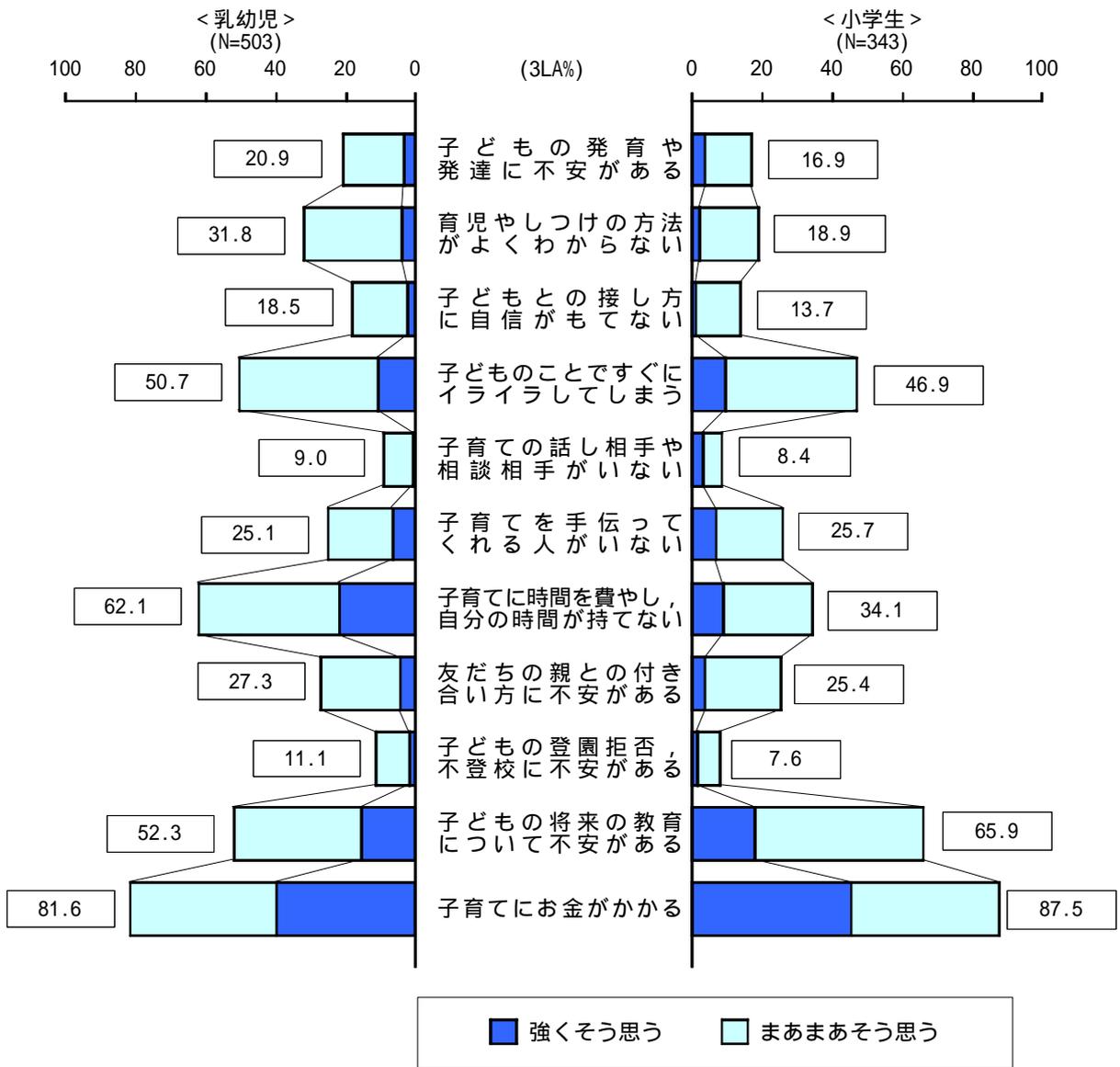
アンケート調査によると、妊娠した時の気持ちとして、乳幼児を持つ保護者で96.4%、小学生を持つ保護者で97.4%と、ほぼ全員に近い人がうれしかったと回答しています。一方、不安を感じた人は、乳幼児で41.3%、小学生で24.8%となっています。

また、子育てをしている中では、「子育てにお金がかかる」と感じている人が乳幼児で81.6%、小学生で87.5%と最も多く、また「子どもの将来の教育」にも不安があると答えており、小学生になるとその率は65.9%と高くなっています。乳幼児の保護者では「自分の時間がもてない」(62.1%)、「すぐにイライラしてしまう」(50.7%)等も上がっており、子どもの年齢が低いほど保護者のゆとりが失われている状況が見受けられます。

図表 26 妊娠した時の気持ち



図表 27 子育てに対する気持ち



資料：子育て支援に関するアンケート調査

子育て環境に対する意見

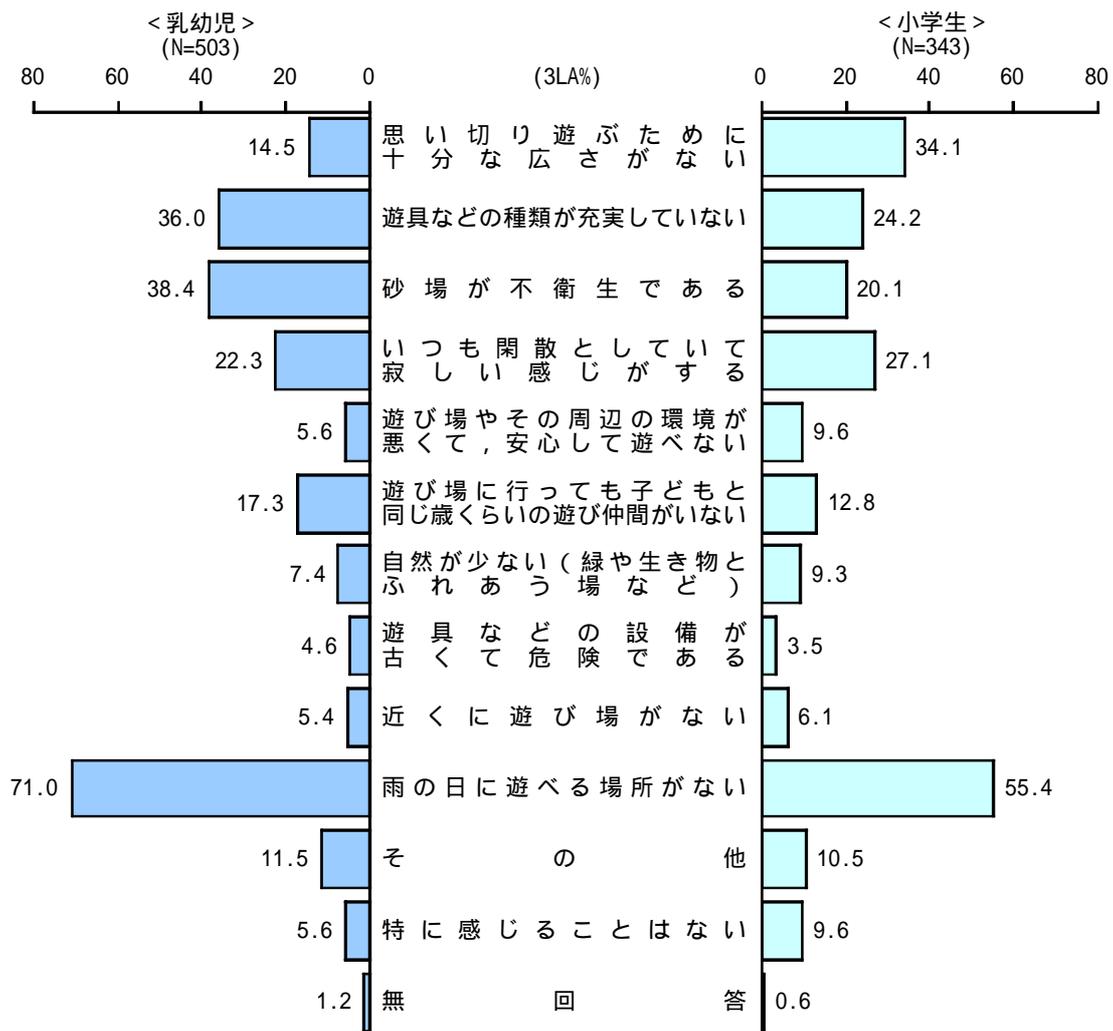
アンケート調査によると、子どもの遊び場について、「雨の日に遊べる場所がない」と感じている保護者が最も多く、乳幼児で71.0%、小学生で55.4%になっています。併せて乳幼児では「砂場が不衛生」(38.4%)、「遊具の種類が充実していない」(36.0%)、小学生では「遊ぶための十分な広さがない」(34.1%)等の意見も多くなっています。

身近な地域に望む子ども同士交流の場として、「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」(53.4%)、「子どもが土日に活動できたり遊べたりできる場」(46.6%)が多くなっています。

子どもとの外出の際に困ることとして、乳幼児の保護者では「ベビーカーでの移動に配慮されていない」(40.6%)、「買い物の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所が少ない」(40.2%)、「小さな子どもと食事をする場所が少ない」(36.6%)等が多く、子どもとの行動に制約を受けやすい環境であることがうかがえます。小学生の保護者では「子どもが犯罪の被害に遭わないか心配である」(45.5%)という安全面の項目が最も多くなっています。

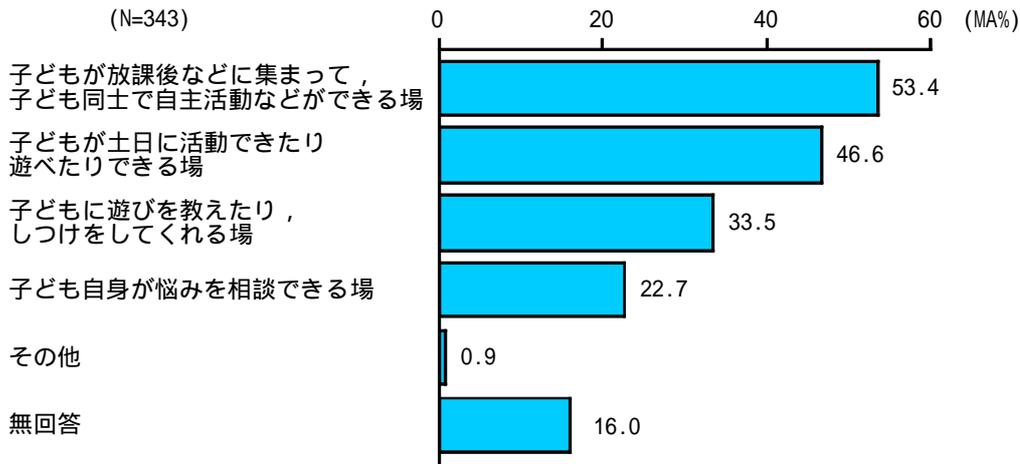
現在の住まいに対しては、「子育てをするための十分な広さがない」(乳幼児23.7%、小学生21.0%)と感じている人が多くなっています。併せて小学生の保護者では「子どもの安全面に不安がある」も30.6%と多くなっています。

図表 28 子どもの遊び場について感じていること

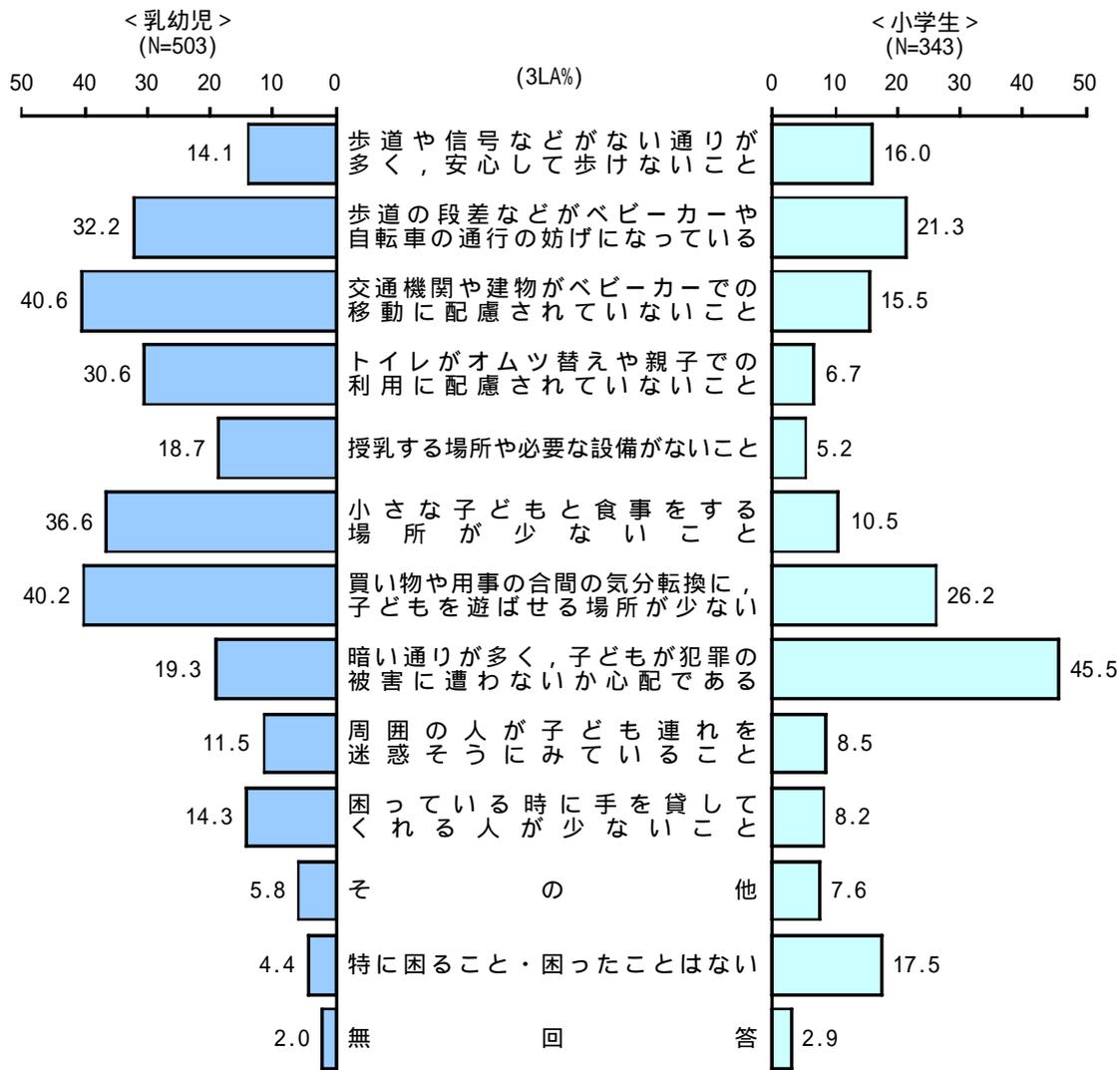


資料：子育て支援に関するアンケート調査

図表 29 身近な地域に望む子ども同士の交流の場

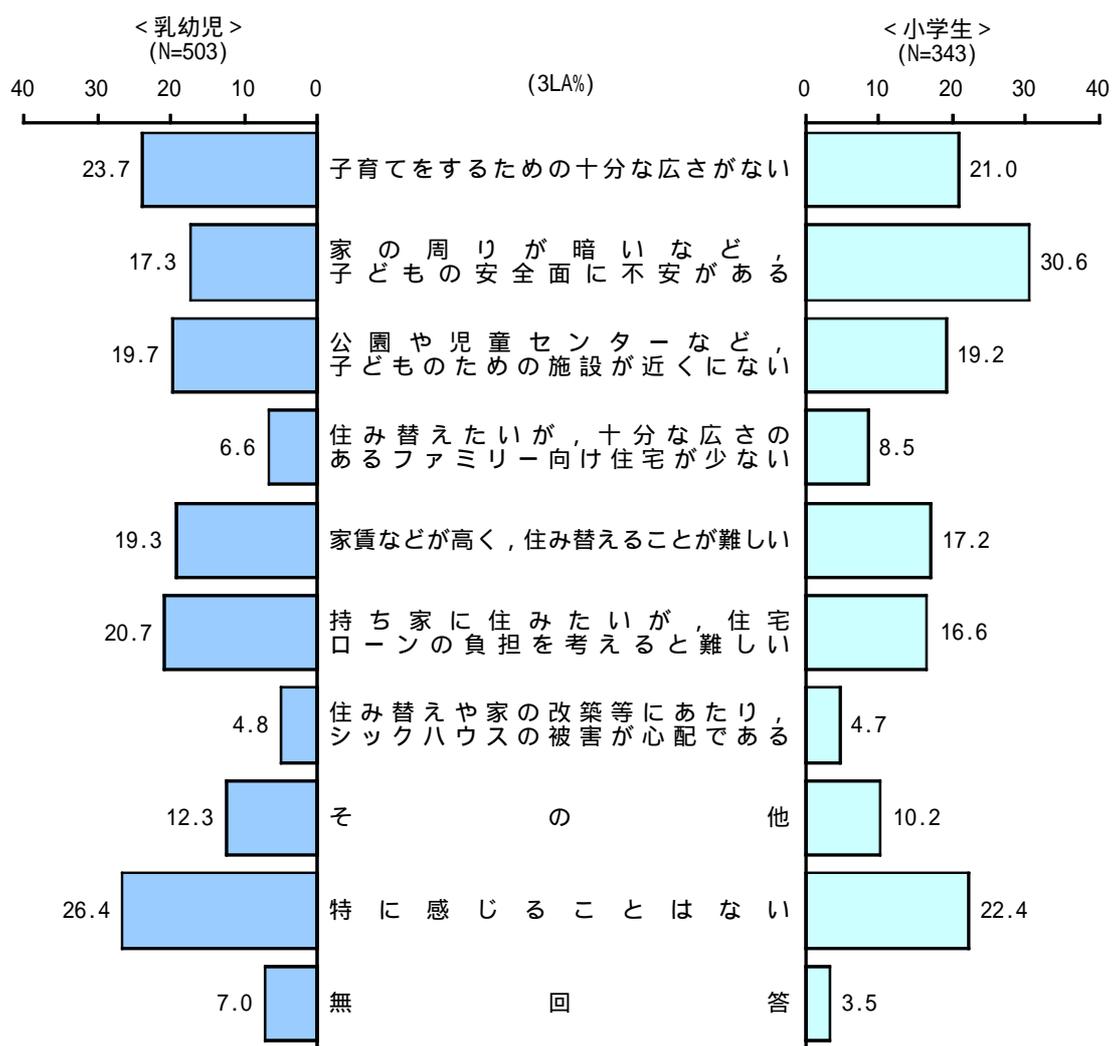


図表 30 子どもとの外出の際に困る(困った)こと



資料：子育て支援に関するアンケート調査

図表 31 現在の住まいについて感じていること



資料：子育て支援に関するアンケート調査